

活動の場所

宇和島市源池公園



活動目的

津島町御内はサギソウ（愛媛県絶滅危惧1 B類）の自生地として広く知られていた。過去には、この地域では至る所にサギソウの姿が見られたが、病気や乱獲により次第に個体数が減少していった。その後、保護・増殖も行われ、しばらくは開花を続けたが、しだいに減少し現在に至る。サギソウは環境の変化やウイルスに非常に弱い植物である。地元では今、わずかに残るサギソウ群落を大切に保護している。何とかしてもう一度往時の再現を図りたいと、連携により整地活動を行っている。近隣小中学校との鑑賞会を行うことで次世代への引継ぎとなっている。

活動内容



地元御植小学校生徒と津島自然を守る会と共にサギ草保護の整地活動
(保護管理区画にサギ草の植え付け)を行う。

各連携組織による自生地調査及び鑑賞会に向けたワーキング。

PRしたいポイント

連携形態による活動（東芝ライテック今治事業所、愛媛県生物多様性センター、津島自然を守る会、宇和島市、津島町、御植小学校、東芝ライテック宇和島）により各組織の役割分担居て活動がなされている。活動の際には、「連携」「広報」「教育」の視点を盛り込み従業員自らが企画又は参加する活動が中心となっており、拠点内の環境意識向上、活動の継続的展開につながっています。

活動効果、今後の展開 等

- 地元住民より喜ばしいお言葉が毎年来る。
- 継続する事により、児童が成長しサギソウも成長する。 他絶滅危惧種調査開始